

平成30年度事務事業評価シート(29年度実績)

◎基本情報

事務事業名		ASAトライアングルを結ぶサイクリングツーリズム推進事業		担当部署	企画総務部 戦略企画課 市民環境部 スポーツ課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市総合戦略、 ASAトライアングルを結ぶサイク リングツーリズム推進事業計画		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業 期間	開始	平成	29年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと					
(小項目)		観光			終期	未定	
施策	1	観光・交流のまちづくり					
基本事業	4	にぎわいと交流の創出					

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 サイクリング愛好者・市民・近隣住民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	鳴門市・南あわじ市・東かがわ市の3市を結ぶサイクリングツーリズムを推進することにより、観光振興等の地域活性化と市民の健康づくりを促進する。						
事業計画	29年度に何を計画していたか	サイクリングコースの設定、サイクリスト受入体制整備、関連イベントの開催などを実施する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位
		3市の交流人口増加数	-	6,000	6,000	8,000	10,000	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①平成29年10月より、鳴門海峡の自転車輸送を開始した。 ②「ASAサイクリングコース」の設定を行った。 ③サイクリストを温かくもてなすための取り組みに積極的な飲食店等19施設を「おもてなしスポット」として指定した。 ④「サイクリングコース」や「おもてなしスポット」を掲載した「ASAサイクリングコースマップ」を製作した。 ⑤ASAサイクリングコースや自治体の魅力について映像を用いて全国的に情報発信するため、PR動画を作成した。 ⑥島田島ハーフマラソンの開催や、鳴門・南あわじ渦潮ファンライドを報知新聞社と共催で行うなど、関連イベントを実施した。					
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
	指標名	28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 施策実施数	0	6	5	5	5	個
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	3市の交流人口増加数	0	498	-	-	-	人
	目標達成率(実績/目標)		8.3	-	-	-	%
今年度の進捗状況	未達成		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成29年度	当初予算額	22,000	0	0	4,500	18,500	45,000
		補正予算額	10,000	0	0	0	10,000	20,000
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	32,000	0	0	4,500	28,500	65,000
		決算額	19,532	0	0	13,212	6,322	39,066
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)	総人件費		総事業費	
		1.0	0.0	7,234	46,300			

【鳴門市行政評価】

【事務事業名:ASATライアングルを結ぶサイクリングツーリズム推進事業】

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費	8,000	39,066	68,000	未定	未定
	うち一般財源	4,000	6,322	26,400	未定	未定
	人件費	3,567	7,234	7,234	未定	未定
	総事業費	11,567	46,300	75,234	未定	未定

◎項目別評価(CHECK)

評価項目	評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった 自転車輸送開始により、淡路一鳴門間を自転車で往來することが可能となったことで、サイクリストを呼び込むきっかけをつくることができた。
	効率性	C:あまり効率的でなかった 自転車輸送の便数については1日3便であることから、限定的な利用にならざるを得ない。また、自転車輸送に関しては、運送会社に委託契約を行っているが、費用が割高であるなど、見直しの必要がある。
②成果に対する評価	指標名	3市の交流人口増加数
	目標	6,000 人
	実績	498 人
	評価	D:目標を達成できなかった 平成29年10月から自転車輸送を開始したため、交流人口増加数については、半年間の実績である。今後は輸送方法の見直しやサイクリストを呼び込むための施策について検討する必要がある。
③総合的な評価	C	自転車輸送に関しては全国的にも珍しく、サイクリングツーリズムの機運を高めることに関しては一定の効果があったと考えられるが、自転車の輸送方法の見直しやサイクリストを呼び込むための施策について検討する必要がある。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	徳島県と兵庫県が、「大鳴門橋の下部空間を活かしたサイクリングロードの整備」を検討しており、実現すれば、多くの観光客増加や地域の活性化を見込むことができるが、安全性の確保が一番の課題であり、直ちに実現されるものではない。こうしたことから、サイクリストを呼び込むための環境整備や積極的な広報活動、関係イベント等の各種施策を引き続き行っていく必要がある。また、割高となっている自転車輸送の方法についても検討が必要である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度	サイクリストを呼び込むための環境整備や積極的な広報活動、関係イベント等の各種施策を引き続き行う。また、自転車の輸送方法についても検討を行う。			
	H31年度	H30年度と同様			